

事業概要 【公開型地理情報システム（GIS）導入事業】

実施主体	石川県白山市	事業実施年度	令和7年度	事業費	90,387千円
事業概要	本市が保有する様々な地図情報を表示するWEBサイトを構築し、市民、事業者及び観光客などに公開することで、従来の窓口業務等における問合せ時間や来庁機会等の住民負担を軽減し、住民サービスの向上を図る。また、少子高齢化により生じる様々な地域課題を本市が推進する市民協働で創るまちづくりとして、地域の地域による地域のために課題解決ができるよう地図情報をオープンデータ化することで支援する。				
具体サービス	- 本市が保有する様々な地図情報（ハザードマップ、避難所マップ、都市計画図、道路マップ、観光マップなど）を、市民、事業者及び観光客などが利活用できる、公開型GISを構築する。 - 本市の各部署で管理する個別GISは、一元管理されておらず、平時や緊急時にタイムリーに利活用できる公開型GISの構築には、個別GISによる一元管理が必須であることから、統合型GISを同時に構築する。また統合型GISで構築した地図情報については、公開型GISにデータ連携可能な仕組みを構築しタイムリーな情報公開を実現する。これにより迅速な市民サービスの提供に加え、PDCAによる市民ニーズにあった情報提供の継続に繋げる。 - 少子高齢化により生じる様々な地域課題を本市が推進する市民協働で創るまちづくりとして、地域の地域による地域のために課題解決ができるよう地図情報のオープンデータ化を図り支援する。 個別地図情報 地図データ連携PF 公開型GIS構築において、統合型GISの構築が必須 クラウドサービス 統合型GISデータベース 公開型GISデータベース 公開型GIS インターネット公開 ● ハザードマップ ● 避難所マップ ● 都市計画図 ● 道路マップ ● 観光マップ など				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ・公開型GISへの追加マップ・情報レイヤーの増加数 ・公開型GISのアクセス件数		【アウトカム指標（成果指標）】 ・公開型GISの利用者満足度 ・窓口問い合わせ削減件数		

交付金の具体的使途

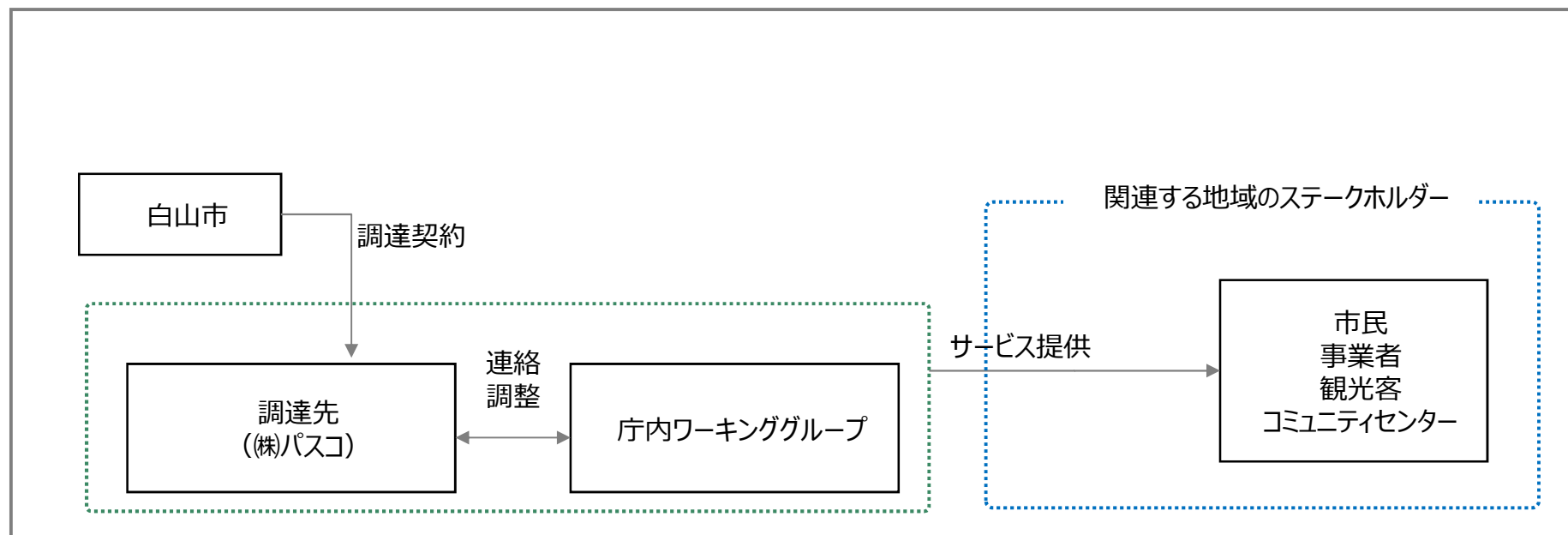
■ 経費内訳

(千円)

経費項目	数量	期間	金額	備考
■ GIS構築（統合型及び公開型）				
要件定義・外部設計・内部設計	一式	R7.7～R8.3	23,121	基本計画、既存地図データの収集整理等、都市計画基本図修正
製造	一式	R7.7～R8.3	22,465	統合型GIS構築、公開型GIS構築、GISデータ作成、データ調整・更新
総合テスト・運用テスト	一式	R7.7～R8.3	1,265	システム調整・設定、操作研修
■ 直接経費にかかる諸経費	一式	R7.7～R8.3	26,679	その他原価相当額及び一般管理費
■ 住宅地図等調達費	一式	R7.7～R8.3	8,640	
■ 消費税			8,217	
計			90,387	

推進体制

■ 事業推進体制



名称	役割
白山市	- 事業計画の立案 - 報告書作成をはじめとする事業全般の管理・統括業務
調達先	- 本システムの導入（初期設定） - 本システムの保守 - 他自治体での導入ノウハウの提供
庁内ワーキンググループ	市民アンケートの結果や利用状況の実績を評価し、レイヤー化情報の選定・増加を検討する

名称	役割
市民	- 本システムの利用者 - アンケート調査への協力
事業者	- 本システムの利用者 - アンケート調査への協力
観光客	- 本システムの利用者 - アンケート調査への協力
コミュニティセンター	- 本システムの利用者 - 地域課題の解決に利用 - アンケート調査への協力

効果検証の結果：アウトプット指標（活動指標）

KPI①	公開型GISのアクセス件数	種別	アウトプット	単位	件数
KPIの概要、測定方法	地図情報公開サイトのアクセス件数を測定する。 アクセス件数は、サービス提供事業者によるログ管理にて集計・測定する。 年間あたり4,000件以上の問い合わせ対応を窓口及び電話で行っており、それを目標値として設定。 目標値を達成することで住民の来庁機会等が軽減する。3年間で窓口や電話での対応件数の50%の削減を見込む。				
事業成果等の計測に適する理由	利用者のニーズに即した運用改善などシステムの利活用促進を図るため、アクセス件数を活動指標とする。				
2025年度末		2026年度末		2027年度末	
100		1,000		2,000	
2025年度末実績					
未計測					
未達成の理由	地図情報の公開Webページ（「白山市わが街ガイドマップ」）を初めて白山市ホームページサーバに公開した日が、令和8年3月30日であったため、実質、令和8年度の閲覧ログはなく、実績値は未計測とした。				
今後の取組の方向性	アクセスログはサーバー内に蓄積され、導入事業者より毎月報告が提出されることになっており、令和8年4月以降は月ごとのアクセス数が集計可能となる。アクセス数を定期的に確認し、関係部署へ情報共有することで、地図情報の充実を促進させたい。				

KPI②	公開地図数・情報レイヤーの追加数	種別	アウトプット	単位	件数
KPIの概要、測定方法	公開地図数・情報レイヤーの追加数を測定する 公開地図数・情報レイヤー数は、サービス提供事業者による資料より集計・測定する。				
事業成果等の計測に適する理由	オープンデータの推進を見据え、また利用者ニーズに応じた地図コンテンツを追加することで、運用改善など更なる利活用促進を図り、搭載マップ数を活動指標とする。				
2025年度末		2026年度末		2027年度末	
5		8		10	
2025年度末実績					
12					
未達成の理由	－				
今後の取組の方向性	現在ある12のマップに加え、公開できる地図情報について、ワーキンググループ等で検討し、より多くのマップを追加していきたい。また、オープンデータも公開しており、随時追加更新されるオープンデータをマップに取り込みを行い、地図情報を充実させたい。				

効果検証の結果：アウトカム指標（成果指標）

KPI①	利用者満足度	種別	アウトカム	単位	ポイント
KPIの概要、測定方法	アンケート調査での5段階評価における満足度の平均値とする。 システムを利用した市民や民間事業者に、アンケート回答ができるようホームページや広報等を利用し集計・測定する。				
事業成果等の計測に適する理由	アンケート調査での平均値が高ければ利用者満足度が高いと評価できるため。 システム利用促進に向けて、公開型GIS運用開始から年度ごとに、利用者満足度調査を図るためのアンケート調査を実施し、コンテンツの追加要望等を踏まえシステム利活用促進を図る。				
2025年度末		2026年度末		2027年度末	
3.0		3.5		4.0	
2025年度末実績					
未計測					
未達成の理由	令和8年3月30日に公開型GISのサイト（「白山市わが街ガイドマップ」）がインターネットに公開されたため、KPIを計測する十分な期間がなかった。アンケート調査で十分な回答数を獲得するには、公開後ある程度市民等に周知する期間を要するため。				
今後の取組の方向性	市ホームページなどの広報媒体により、地図情報の公開Webページを周知し、利用者数が十分拡大した後にアンケート調査を実施し、十分な回答数を得たいと考えている。アンケート調査は市のLINEまたは電子申請サービスを利用し、広く募集する予定。				

KPI②	窓口問い合わせ削減件数	種別	アウトカム	単位	件数
KPIの概要、測定方法	窓口での問い合わせ件数をモニタリングし本事業前後の件数を比較する。				
事業成果等の計測に適する理由	年間の窓口問い合わせ件数が削減することにより本事業の目的の一つである市民の窓口への来庁負担の軽減、市民の利便性向上の効果を測定できるため。				
2025年度末		2026年度末		2027年度末	
100		1,000		2,000	
2025年度末実績					
未計測					
未達成の理由	令和 8 年 3 月 3 0 日に公開型GISのサイト（「白山市わが街ガイドマップ」）がインターネットに公開されたため、KPIを計測する十分な期間がなかった。年間を通した件数を集計する必要があるため、「未実施」とした。				
今後の取組の方向性	庁内各担当課において、窓口及び電話で地図に関連する問い合わせがあった数をできる限り計測していき、2024年度比でどれだけの削減があったかを報告してもらう。同時に、新たにマップを追加することで窓口対応を削減することができないか、ワーキンググループ等で検討する。				